
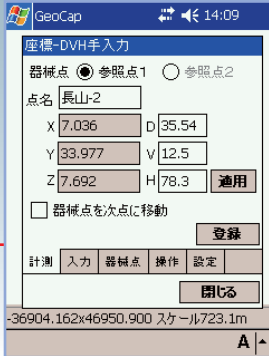


FORMAS Geo

近年は森林測量の現場への GPS とデジタル方位計の導入が進んでいます。作業効率の向上は多くの方が認めるところとなりますが、コストを筆頭に導入への障壁は決して小さくありません。また GPS やデジタル方位計などの新しい技術に対する不安も少なからずあると思います。このような声に答えるために、GeoCap はポケットコンパスと間縄を使用している作業現場で、導入したその日から使えることを目指して開発したシステムです。



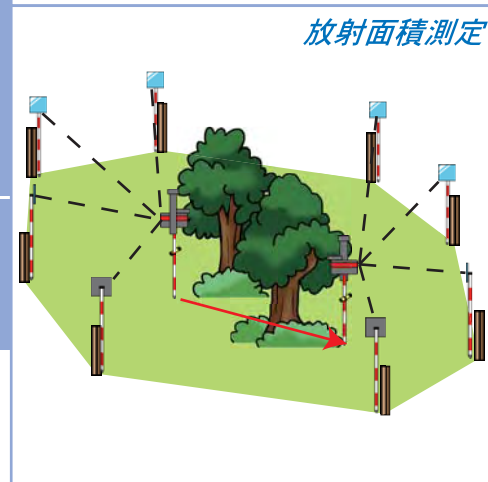
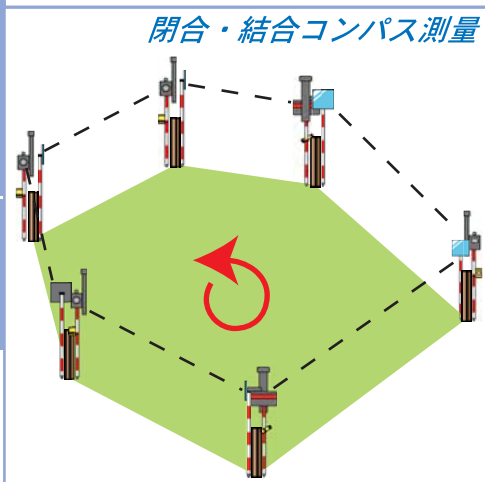
FORMAS Geo-M



アップグレード可能なシステム GeoCap は GeoCap-M の手入力バージョンから、GPS やレーザ機器を使用する GeoCap-G, L, GL までの測定機器に対応したバージョンが用意されています。初めに廉価な手入力バージョンを導入し、使い慣れてから GPS やレーザ距離計を追加するなどのアップグレードが可能です。



GeoCap の特長 —— 多彩な測量に対応

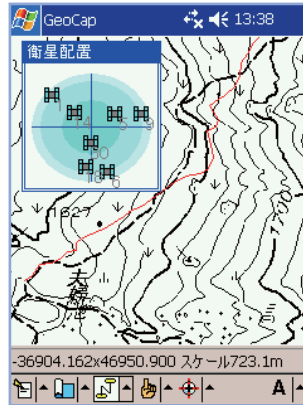


プロジェクト管理



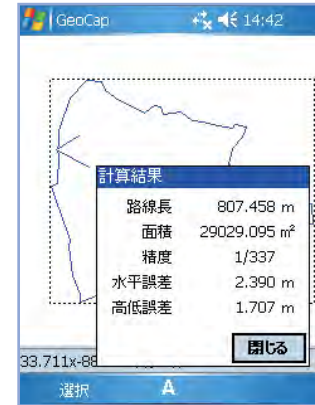
GeoCap は座標点単独 (ポイント)、路線 (ライン)、区画 (ポリゴン) の測定データをまとめてプロジェクトとして管理します。これにより大規模な作業エリアのデータ管理も楽に行なえます。

GPS による路線測定

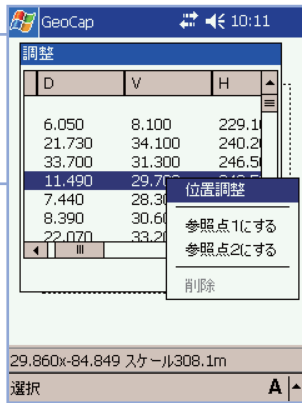


GPS の連続測定では林道・作業道の測定を効率良く行うことができます。また背景地図を効果的に利用することができます。地図はシェープファイルやラスター地図やスキャンした図面を利用できます。林道や作業道工事の進捗度管理を地図上で位置を確認しながら行うことができます。ラスター地図の例：フォーマット制限あり

現地で結果の確認



閉合・結合コンパス測量では、手入力でもレーザ機器を使用した場合でも、終了と同時に現地で精度と面積 (閉合) の確認ができます。このため後日再測などの心配がありません。



データ確認

データの確認や入力ミスの訂正も簡単に行うことができます。

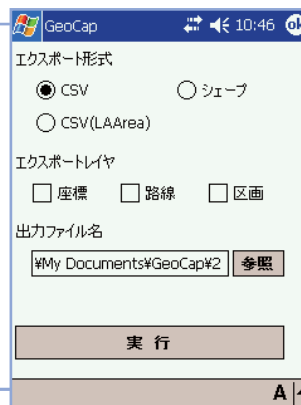
データ編集画面

これにより面積調整など、現地での試行錯誤も可能になりました。



座標結合

GPS やレーザ機器などを使って測定した座標 (ポイント) を路線や区画として結線する機能があります。測定した座標を結合して面積計算を行うことができます。また作成した区画の逆トラバース計算を行い、現地で距離や方位の点検も可能です。



データ出力

データコレクタのデータは CSV 形式または GIS データ形式のシェープファイルで出力することができます。CSV 形式のデータは当社コンパス測量計算ソフトウェア LAArea と互換がありますのでそのまま帳票印刷ができます。(バージョン 3.0 以上)

コンパス記録 (距離測量)

測点	測点名	経緯度	高さ	距離	方位	時刻	備考
1	観山-1	139.711	35.311	0.000	0.000	10:00	
2	観山-2	139.711	35.311	36.124	-45.148	10:01	
3	観山-3	139.711	35.311	20.443	-56.505	10:02	
4	観山-4	139.711	35.311	4.762	-58.417	10:03	
5	観山-5	139.711	35.311	-13.332	-74.098	10:04	

LAArea

